

公益社団法人 板橋区シルバー人材センター

生きいき



令和8年4月25日 第224号 発行：公益社団法人 板橋区シルバー人材センター

板橋区板橋2-65-6 板橋区情報処理センター2F ☎03-3964-0871

公式HP▶



南極地域観測隊員が撮影したウェッデルアザラシの親子

令和7年度傷害事故件数	令和8年1月～3月発生	6件(累計31件)
令和7年度賠償事故件数	令和8年1月～3月発生	2件(累計5件)

公益社団法人 板橋区シルバー人材センター 令和8年度 事業計画の概要をお知らせします

— はじめに —

板橋区シルバー人材センターの事業実績は、コロナ禍以降、堅調な状態を維持しています。しかしながら、一方で、令和6年11月に施行された特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（所謂、フリーランス新法）による制度改正への対応に加えて、令和8年10月にインボイス制度における仕入控除割合の変更が予定されていることから、今後、それらに対する的確な対応に迫られている状況にあります。

こうした状況を踏まえ、令和8年度においては更なる会員数の増加と会員満足度を高めるとともに、より一層の就業開拓活動を推進し、受注件数の増加及び就業率向上を図るため、盤石なセンター運営に向けた取組を強化します。そのための具体的な方策として、①センターの認知度向上・入会促進活動拡充、②労働者派遣事業の拡大、③会員の就業機会の拡充、④安全就業対策の推進、⑤区民の孤立・孤独予防活動の推進、以上5点として取り組んでいきます。

①センターの認知度向上・入会促進活動拡充

センター事業のPR活動をより一層強化すべく、新聞折込広告、バスラッピング広告等の活用、広報いたばし等への広告掲載を行います。また、多世代、多角的、多面的に区民や区内事業者へセンター事業のPRを行うとともに、更なる認知度の向上を図るために、前年度より開設した公式LINE・YouTubeといったSNSを用いた広告活動を充実させるとともに、現在開設しているSNS媒体以外の媒体による周知活動を実施します。センター設立50周年の節目に向け、公益法人としての社会的価値を更に高め区民福祉向上に資するイベントを引き続き実施します。

入会説明会については、休日における説明会や区内5カ所にある「ふれあい館」などの高齢者施設における入会説明会を実施します。また、Web入会説明会の推進に加え、近年女性会員の割合が増加していることを踏まえて、女性の活躍促進に繋がる福祉・保育分野に特化した説明会を行います。さらに、植木や除草などの専門技能職に特化した職種別入会説明会を実施します。

②労働者派遣事業の拡大

深刻な人手不足が叫ばれている保育業界へ、シルバー派遣事業活用による助成金制度を提案し、女性会員の就業率アップに努めます。会員から要望の多い事務職や、スーパーマーケット、学童保育事業などの就業開拓に取り組み、多様化する会員の就業ニーズに対応します。これらに加えて、区役所の関係部署や区内産業団体等とのさらなる連携強化を図り、区内企業並びに会員の抱える課題解決を担うプレイヤーとしての役割を果たします。

③会員の就業機会の拡充

地域団体との連携強化に加え、これまで実施してきたイベントにより協力関係が構築された東京都健康長寿医療センターとの連携をより一層強化することにより、そこから派生する新規受注の拡大を図ります。また、新入会員の高齢化に対する、より短時間かつ軽作業の就業メニューや、会員がこれまで培ってきた技術を生かした就業機会の確保など、多様な働き方の充実を図ります。これらに加えて、LINEによる就業情報提供のブラッシュアップやふれあい館への就業情報の配架を引き続き実施します。

④安全就業対策の推進

センターにおいては安全就業が何よりも優先されるという理念の下、あらゆる事故の減少をめざし、就業現場の安全点検、会員への安全就業意識の啓発など、センターを挙げて、より一層の安全対策に取り組んでいきます。

また、労働安全衛生規則の改正に伴い、熱中症による重篤化を防ぐための「体制整備」、「連絡体制」、「手順作成」を充実します。会員の食中毒やインフルエンザ等感染症防止対策について、安全管理委員会、衛生委員会や広報誌を通じて注意喚起を実施します。

⑤区民の孤立・孤独予防活動の推進

地域に住まう会員並びに非会員の居場所としての機能、顔の見える関係づくりによる繋がり強化、地域コミュニティの再形成に貢献する目的から立ち上げた「板ちょこサロン」において、会員がフレイル予防に資する運動プログラムを実施するとともに、会員の趣味や特技を生かしたカルチャー教室などを通して就業に繋がります。

以上5点の重点施策に加え、引き続き会員の生きがい就業に対する意識を高めつつ、就業相談を行うことで、高齢者の就業促進に寄与していきます。

これらのことを計画の骨子としつつ、近年スタンダードとされているDXの推進等組織運営の高度化に力を入れつつ、社会のニーズの変化に対応し高齢者の社会参加をより一層促進することによって、活力ある地域社会への構築に対しより一層貢献すべく、令和8年度事業計画を以下により策定しました。

— 主な実施計画の内容 —

Ⅰ 事業運営

基本方針1

公益社団法人板橋区シルバー人材センターへの理解・活用促進活動及び入会促進活動の推進

新聞折込及び公共交通機関における広告の掲示その他、区内イベントに参加等によるPR活動を行い、センター

への理解と活用促進を推進します。また、「入会希望者説明会」に関しては定期開催、ふれあい館への出張開催、休日開催に加え、職種別に特化した説明会を実施します。

基本方針2

シルバー人材センター労働者派遣事業の推進

福祉・保育などの人手不足分野における高齢者活用のPRを積極的に行います。また、会員から希望が多い事務系等の職種について派遣での契約締結を推進し、魅力ある職種の開拓に力を入れます。

基本方針3

就業場所の幅広い開拓及び拡大、未就業会員の状況改善

一般家庭、民間事業所、官公庁等に対し高齢者就業のより一層の理解を求めることにより、就業機会の開拓とともに、就業推進を図ります。就業情報の提供については、ホームページ、事務局内の掲示、ふれあい館への配架、LINE並びにSmile to Smileによる通知を実施します。就業者数の多い職種や労働者派遣事業について、就業希望者登録選考会を実施します。

基本方針4

会員の安全就業対策

- 1 安全管理委員、安全支援員が就業場所を巡回し、安全就業について啓発・指導を徹底し、就業途上・就業中の事故防止に努めます。また事故現場を確認し原因を分析すると共に再発防止策を検討します。
- 2 万一の事故に対して適切な対応ができるよう、応急手当やAEDの使用法など、普通救命講習を実施します。
- 3 安全就業手帳の内容を充実させる他、広報誌「生きいき」に「安全通信」を毎月掲載し、安全就業・活動意識の向上を促します。
- 4 会員の健康管理を図るために、区の健康診断受診を奨励します。
- 5 警察と自転車安全運転講習会を協同開催します。
- 6 自転車損害賠償保険等への加入の義務化を受け、自転車保険への加入を奨励します。

基本方針5

公益法人としての社会貢献活動の充実

家庭のお手伝いをする「ライフサポート事業」により高齢者世帯の生活を支援します。また、板ちょこサロンを実施し、地域高齢者の居場所づくり、交流の場の創設、所属会員の特技などを活かした講座を実施し、地域活性化を図ります。

基本方針6

就業会員の仕事の質を高める研修・講習

会員の知識・技術の向上を図るため下表の研修・講習会を実施します。

会員研修	会員の仕事の質向上を図る。 (800名対象)	延10回
職種別研修	職種毎に異なる課題を解決する。 (500名対象)	延10回

この他、植木技能研修の実施や、東京しごと財団による「就業支援講習・職域拡大技能講習」等他団体による研修の積極的な活用を図ります。

基本方針7

高齢者の就業相談

就業に関する相談に事務局にて受付します。また、個別就業相談会を開催し、就業情報の周知を図り、就業率向上を目指します。

基本方針8

会員状況調査の実施

全会員を対象に就業意向や現況を把握するアンケート調査を実施し、会員満足度や帰属意識を高めるセンターづくりに役立てるための基礎資料を得ます。

II 公益社団法人としてふさわしい組織を作るために

基本方針1

会員主体の自主自立の組織作り

「理事会」の他、「安全管理委員会」「広報委員会」「衛生委員会」等、会員主体の組織活動を推進します。また、地域班活動においては、会員主体による懇談会を開催し、会員や地域の高齢者の情報交換や相互交流を図ります。

基本方針2

コンプライアンスを重視する組織作り

適正就業体制の確立については、請負契約の適正化、ワークシェアリングに努めます。

引き続き個人情報保護体制の徹底を図ります。

会計については、公益社団法人としてより適切な処理を行うために、引き続き外部監査員（公認会計士）による監査の他、毎月の指導を受けます。

令和8年度収支予算

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度	増 減	内 容
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受託事業収益	1,508,928	1,470,816	38,112	受託事業（配分金、事務費、材料費）
②独自事業収益	5,852	5,225	627	ソーイング事業、エアロピクス、木工事業、サロン事業
③労働者派遣事業等受託収益	20,400	20,400	0	派遣事業
④トライアル就業事業収益	30	0	30	トライアル就業
⑤受取会費	6,602	6,602	0	会員年度会費 3,300 人、特別会員年度会費 1 人
⑥受取補助金等	80,411	80,211	200	板橋区・東京都・国補助金
⑦受取寄附金	1	1	0	
⑧雑収益	2	2	0	受取利息他
経常収益計	1,622,226	1,583,257	38,969	
(2) 経常費用				
事業費				
①受託事業	1,329,795	1,305,245	24,550	受託・独自事業（配分金、材料費）
②労働者派遣事業	2,520	2,520	0	研修費用、事業用消耗品、システム使用料他
⑨普及啓発事業	10,533	10,723	△ 190	会報誌「生きいき」発刊、広告掲載料、イベント配布物他
⑩研修・講習事業	6,855	6,730	125	会員接遇研修講師代、会場使用料、技能職指導手当
⑪就業開拓提供事業	71,622	71,640	△ 18	会員シルバー団体傷害・賠償保険料、契約用印紙代、嘱託職員・臨時職員報酬、回覧チラシ・パンフレット印刷、車両リース(2台分)、事業用消耗品・消耗什器備品、ソーイングルーム等光熱水費、会場使用料他
⑫調査研究事業	4,673	4,163	510	地域班懇談会経費、会報誌発送費、郵便・郵券代
⑬相談事業	1,038	1,038	0	会員就業相談経費
⑭安全就業推進事業	8,704	8,610	94	貸与被服・帽子、会員安全就業手帳配布、安全グッズ送料・郵券代他
⑮事業管理費	141,327	129,809	11,518	公益事業・管理費共通費用（事業OA機器リース・保守料、印刷機リース・保守料、郵便・郵券代、電話代、事業用消耗品、印刷費、配分金明細書プリントサービス代、職員人件費他）、消費税
事業費計	1,577,067	1,540,478	36,589	
管理費				
管理費計	50,159	47,779	2,380	職員人件費、定時総会経費、管理用OA機器リース・保守、印刷機リース・保守料、郵便・郵券代、電話代、消耗品、印刷費、盗難・個人情報取扱保険料、公認会計士監査経費、消費税他
経常費用計	1,627,226	1,588,257	38,969	
当期経常増減額	△ 5,000	△ 5,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,000	△ 5,000	0	
一般正味財産期首残高	206,488	199,579	6,909	
一般正味財産期末残高	201,488	194,579	6,909	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	201,488	194,579	6,909	

(注) 受取配分金の増加に連動する費用（支払配分金・支払材料費等）に限り、予算額を超え執行することができる。

事務局職員事務分担表

令和8年4月1日現在

<p>事務局長：藤田 浩二郎</p> <p>事務局統括</p>	<p>局長代理：鈴岡 利明</p> <p>事務局長補佐、定時総会、理事会、衛生委員会、事業計画、事業報告、経理(予算・決算、出金管理)、公益法人申請届出、地域班管理、配分金支払事務</p>
<p>次長：吉田 美穂</p> <p>理事会、広報委員会、地域班、適正就業、庶務、給与、国庫補助金(連合交付金)、民間継続・派遣事業(スーパー)、独自事業(ソーイング事業)、調査・回答</p>	<p>次長：稲垣 隆生</p> <p>理事会、衛生委員会、派遣事業統括、区補助金、独自事業(サロン事業、シニアエアロピクス)、会員研修(接遇、調査、ブロック研修等)、入会説明会</p>
<p>主任：二見 高広</p> <p>安全管理委員会、衛生委員会、公共事業(駐輪場「東上線」、駅前放置防止、自転車保管所)、民間継続事業(軽作業等)、派遣事業(軽作業)、技能職(植木)、貸与被服、統計管理</p>	<p>主任：有本 友紀子</p> <p>広報委員会、公共事業(地域センター、公園管理、男女平等推進センター、高島平福祉園、安否確認コールセンター)、独自事業(サロン事業)</p>
<p>主事：町田 知子</p> <p>公共事業(児童館、交通公園、情報処理センター、広報配布)、植木、筆耕、独自事業(ソーイング事業)、地域班、シルバー PR、庶務補助</p>	<p>主事：山内 悠生</p> <p>公共事業(ウエルネススペース、公園管理、駅前放置防止)、除草、家事援助サービス、生活支援、独自事業(サロン事業)</p>
<p>主事：今井 諒</p> <p>広報委員会、公共事業(なります・仲宿・下赤塚集会所管理、歩道清掃、ふれあいの里、公文書館)、マンション清掃、期日前投票所案内、派遣(事務)、独自事業(木工クラブ)、就業情報、HP管理、シルバーPR</p>	<p>主事：飯島 正之</p> <p>安全管理委員会、公共事業(駐輪場「三田線」、自転車保管所、旧工場ビル、はずのみ教室、西台廃施設)、民間継続事業(企業清掃)、技能職(襖、障子、クロス)、就業情報、貸与被服、車両管理</p>
<p>主事：村上 侑哉</p> <p>広報委員会、公共事業(学童擁護、学校受付、校庭開放、学校施設管理、クラブハウス清掃)、派遣(保育園関連、あいキッズ)、シルバーパス、就業情報、統計管理、HP管理</p>	

嘱託職員

氏名	担当業務	氏名	担当業務	氏名	担当業務
三浦 昇	機材運搬職	浜尾クニ子	来所者受付職	高橋 豊	民間継続事業職
松崎 英男	機材運搬職	茂呂美智代	来所者受付職	伊藤 順香	民間継続事業職 一般事務補助職
島谷 俊次	機材運搬職	風間 智晴	就業開拓専門職 派遣就業	甲斐 正弘	公共事業職 民間継続事業職
佐野 正実	機材運搬職	吉田 誠	筆耕事業職 未収金調査職	遠山 幸子	電話対応 一般事務補助職
臼澤 秀子	来所者受付職	坂野 恵子	一般事務補助職	石田 文子	一般事務補助職
重盛 聖子	来所者受付職	菅野 礼子	有料駐輪場 集計事務職 一般事務補助職		

安全通信

vol.76

～令和8年度 安全対策実施計画～

事項	項目	実施計画	計画内容
1 安全管理体制の充実	①安全管理委員会、安全支援員連絡会の開催	安全管理体制の整備、定着に向けて周知、指導を援助する	●安全管理委員会 安全支援員連絡会 各5回の開催
	②財団及び他地区センターとの連携	財団、他地区センター等との諸会議・講習に出席し、連携を図る	●財団講習・会議 第3ブロック講習・会議への参加
2 事故防止措置	①「安全就業基準」「作業別安全就業基準」遵守の徹底	会員の安全就業確保のため「安全就業基準」遵守の徹底を図る	●植木、塗装、ビル清掃、除草、自転車整理 各職種のグループ会議で確認
	②安全保護具着用の徹底	安全保護具の着用を徹底する(啓発、指導等は巡回・パトロールによる)	●ヘルメット、保護ロープの貸与 ●学童擁護就業ベスト貸与 ●夏用・冬用兼用帽子の貸与
	③作業用機械器具の点検・整備	作業用機械器具の安全点検・整備を徹底する	●脚立、ロープ、ヘルメット点検、整備
	④就業途上等における交通事故防止	自転車等の整備と交通ルールの厳守の徹底を図る	●パンフレットの配付 ●自転車保険の勧奨 ●自転車講習会の実施
	⑤事故の原因分析及び防止対策	類似事故の防止対策に役立てる為、事故原因を分析し報告する	●安全就業推進委員による事故現場確認 ●安全管理委員会で分析 ●会報誌「生きいき」で報告 ●月別の傷害事故報告(HP)で注意喚起
3 会員の健康管理	①会員の健康意識の向上支援	情報提供や、講習会により、会員の健康意識の向上を支援する	●所内掲示版で情報提供 ●講習会(普通救命講習)の実施
	②定期的な健康診断等の受診勧奨	区で実施する健康診断への受診を奨励する	●会報誌「生きいき」安全通信で情報提供
4 安全意識の普及啓発	①安全意識の啓発	会報誌「生きいき」や会員手帳等により啓発し会員の安全意識向上を図る	●会報誌「生きいき」安全通信で掲載 ●安全のしおり(手帳)の配付 ●1人KYチェックシートの配付、活用促進 ●懇談会開催時に安全啓発チラシを配付
		会員の「転倒事故」「自転車事故」を未然に防ぐため、情報提供や体操、講習会を実施する	●【転倒】懇談会開催時、転倒予防体操を実施 ●【自転車】シミュレーター講習、警察による講習
		熱中症に対する知識の向上を支援する	●講習会(熱中症対策セミナー)の実施
	②安全就業強化月間の設定	会員の安全意識向上のため、グッズを配付する	●(夏季)熱中症対策等のグッズの配付 ●(冬季)感染症対策等のグッズの配付
		植木・除草・公園管理の就業会員の応急措置に備えて、吸引器を配付する	●ポイズンリムーバーの配付
		会員の危険感受性及び集中力の向上を図る	●安全就業基準の配付(会報誌「生きいき」掲載) ●「KYシート」の配付 ●1人KYチェックシートの活用を促す
	③安全就業巡回指導	安全管理委員会・安全支援員による就業現場巡回指導と結果を活用する	●安全管理委員・安全支援員による就業現場巡回指導
	④安全標語等の募集	安全標語等の募集を行い、結果を安全対策に活用する	●安全標語の募集及び結果の掲示
	⑤その他 警察協力事業等	警察と協力し詐欺防止等、生活の安全を図る	●警察から情報提供のあった内容を会報誌「生きいき」に掲載する ●詐欺防止講座の実施

安全管理委員と安全就業推進員による

事故現場確認

令和7年度の傷害事故は31件、賠償事故は5件でした。

今年度も引き続き事故件数を減少させられるよう安全就業の徹底をお願いします。

事例1

- 事故区分／賠償事故
- 性別／男性
- 事故当時年齢／75歳
- 就業名称／植木職

植木の剪定をされている会員Aさんにお話を伺いました。

当日の作業現場は閑静な住宅地にある6階建ての中規模マンションの敷地です。建物を囲むように植栽があり、隣地は12台停められる青空駐車場で舗装され白線も引かれています。

事故は駐車場の際にある6mほどのケヤキの剪定をしている時に起きました。隣の駐車場の車両に小さな枝葉や木の切りくずが落ちないように細心の注意をはらって作業をしていましたが、作業終了後、駐車場の車両の持ち主の方が「クルマにキズがついた、どうしてくれる！」と苦情を言ってきました。枝葉が落ちないように細心の注意をはらって作業をしていましたが、木くずが飛んだことで車両を汚してしまった可能性があったため「申し訳ありません洗車をさせてもらいます」とお話ししましたが激怒され、金銭を要求するような言動もありました。そこで速やかにシルバーの事務局へ連絡して担当者に謝罪をしていただくと同時に保険での対応の交渉もしてもらいました。

このケースの場合「会員の安全就業基準」にびたりとあてはまる条文はありませんが、第7条の「会員は作業環境の安全衛生面において安全であるかどうかを確認してから作業に着手しなければならない」と明記されています。問題が起こりそうだと判断した時には、車両の移動をお願いすることや、防塵シートを使用する対策に加え、作業の可否についても慎重な判断が求められると感じました。



事例2

- 事故区分／傷害事故
- 性別／男性
- 事故当時年齢／73歳
- 傷害内容／転倒
- 就業名称／駐輪場管理業務
- 受傷部位・傷病名／右手首橈骨骨折

年の暮れも押し迫った頃の早朝、駐輪場管理業務に就労中に受傷したBさんに話を伺いました。

当日は、駐輪場を利用されるお客様の受付業務として、事務室前に2名で就業していました。

事故当時、当事者は事務室前を離れて駐輪車両の整理を行っていましたが、暫くして事務室前にお客様がみえたのに気付き、受付対応をするために足早に事務室前へ戻ろうとしました。その際、間口部舗装面の縁石上に埋め込まれた測量鉾（直径15mm、高さ5mm程度）の突起に躓き、転倒、右手首・右脇腹を打撲受傷したものです。

【反省点】

- 以前から突起物存在には気づいていたが、お客様を待たせてはいけないとの思いから、足早に駆け寄ってしまった。また当日は小雨模様で湿潤状態であり滑り易かった。
- 2名体制ではあったが、客足が途絶えたこともあり、双方が受付業務から離れ、他の業務に就いてしまい、一時的に受付が不在となってしまった。
- 右手にホチキス、左手に当日利用券を所持しており、転倒の瞬間の受け身態勢が十分でなかった。

【事故発生の教訓】

- 場内での移動時には、足早に急ぐことは極力避ける。（転倒防止、転倒時の重傷化リスク回避）
- 場内には、舗装面上の突起物、凹凸、段差（軽微のもの含む）等、躓き転倒の原因となりうる物体が無数に点在していることを普段から注視し、傷害事故防止に努める。
- 2名体制の時間帯では相互に声掛けを行い、余裕を持って受付業務にあたれるよう体制を確保する。
- 高齢化等による筋力衰退により、平坦な箇所でも「擦り足歩行」が転倒の一因となりえることから、日頃から足腰の筋力の維持・向上に努め転倒防止を図る。



「板ちょこサロン」

新規事業のご案内!



板ちょこサロンはシルバー人材センター会員のみならず地域に住まう区民が、ちょこっと寄ってお茶を飲みながら、仲間とお話したり趣味活動、娯楽、カルチャー教室などをしたりするだけでも楽しめる場所です。

サロンには、シルバー人材センターの活動が就業のみで会員同士の繋がりが希薄であったことから“就業以外にも繋がることのできる場所を開設したい”、全国的に高齢化が進んでいるセンターのこれからのあり方を考え、“センター会員が今よりも帰属意識を高められるように”という思い、サロンの誕生で“会員同士が顔の見える関係になり、地域活性化、シニア世代の孤立孤独対策の一助となってほしい”、このようにたくさんの思いが込められています。

サロンは、センター会員の“やってみたい”、“やりたい”を実現できる場所です。例えば、茶話会、囲碁、将棋大会、健康マージャン、終活講座、フレイル予防体操など、会員の数だけコンテンツが増えていきます。なお、会員が実施する活動は就業になります。参加者から徴収した参加費を実践した会員で按分した額が月次の配分金収入となります。

このようなコンセプトを背景に令和8年1月30日(金) 向原3-7-8ケアホーム板橋内「さくらテラス」にて、板橋区シルバー人材センターの新規事業である「板ちょこサロンあっと向原」がオープンしました。

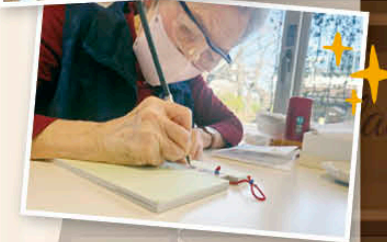
向原におけるサロン活動は、地区リーダーを中心に「会員同士顔が見える関係が作れ、楽しく、また来なくなる会」を合言葉に、参加者に飽きさせないサロンにするため準備を重ねてきました。

第1回は、大谷口地区リーダーの解良 富正会員がファシリテーターとなり、サロン構想の初期から一緒に伴走してくれていた豊 経子会員と幡場 美津子会員をフレイル予防に資する運動コンテンツの実践者とし、岐阜県可児市で40年以上にわたり人気カフェを運営してきた佐藤 秩英・福代会員の5名で臨みました。また、サロン立ち上げを支援してくださった東京都健康長寿医療センター研究所の先生方も応援に駆けつけてくださいました。プログラムは、参加者らの自己紹介、ソーイングルーム虹の会員が作成したお手玉を用いた自己紹介ゲーム、口腔体操の一環で早口言葉大会を行い、ゲーム体操で心も身体もほぐれた後は、コーヒータムに入り、小茂根福祉園で販売している296(フクロウ) 珈琲に社会福祉法人にりん草クッキーハウスCosmosのオリジナルクッキーを添えました。コーヒータム終了後、栄養プログラムを実施し第1回は無事終了となりました。

第2回は、2月21日に板ちょこサロンフェスを実施しました。フェス内容は、現在当センターの独自事業(ソーイングルーム、シニアエアロビクス、木工クラブ)会員と筆耕会員の協働を実現しました。シニアエアロビクス体験、ソーイングルームの作品展示、木工クラブ作成の輪投げ大会、筆耕会員によるオリジナル名入れストラップ販売を行いました。フェスのもう一つの醍醐味は多世代交流です。近隣保育園にイベント告知をし、お菓子つかみ取りイベントも実施しました。

参加者からは、“近隣の方と知り合うことができとても有意義だった”、“今までにない新しい取り組みでとても楽しかった、また来たい”、“コーヒーがおいしくて虜になった”などの良い意見をいただきました。

当センターでは今後、就業だけでない新たなセンターのあり方と様々なバックグラウンドを持った会員の多様な就業機会の拡大のため、板ちょこサロン事業を充実させていきたいと考えています。



セミナーを開催しました!

就活×終活×マネ活セミナー

昨年度多くの方にご参加いただいた就活×終活×マネ活セミナーを2月10日(火)に成増アクトホールで開催いたしました。

今回、アクトホールで開催することになった経緯としては、シニア世代に必要な“仕事、人生の振り返りとそのまとめ”、“シニア世代に必要な資産活用”、についてより多くの区民に聞いてほしいという思いと、会員層の薄い成増地区でシルバー人材センターの存在をより多くの方に知ってもらいたいという思いから、セミナーを実施いたしました。

内容については、就活分野をシルバー人材センター及びはつらつシニアいたばし(おおむね55歳以上の方を対象とした、無料職業紹介所)、終活分野を、センター会員で特定非営利活動法人認定終活アドバイザーの林美保子講師、マネ活分野を、金融経済教育推進機構(J-FLEC)の岡田秀樹講師が担当しました。

当日は非会員、会員合わせて57名の方に来場いただきました。

セミナーの内容は、どれもシニア世代参加者が関心を寄せていたためか、皆熱心に聴講されていて、時に笑いが見られたり、深い顔つきも見られたりと、セミナーを盛会に終わることができました。

今回、アクトホールで実施した終活セミナーについては、時間の関係もあり「エンディングノートが必要になる背景」と「エンディングノートとは何か」の概論説明のみでした。

終活セミナーは、今後、センターの新規事業「板ちょこサロン※1」の中で三部構成(①ライフプラン、②資産、③ラストプラン)で講座を開催する予定です。まだ参加されていない会員の皆様、ぜひ、参加されてみてはいかがでしょうか。

※1 板ちょこサロンは、各回参加費500円(コーヒー、茶菓代含む)がかかります。



講師
特定非営利活動法人認定
終活アドバイザー
林 美保子氏



講師
金融経済教育推進機構
(J-FLEC)
岡田 秀樹氏



2・3月に開催した「地域班懇談会」をご紹介します!



前野班懇談会



徳丸班懇談会



高島平A班懇談会



富士見班懇談会



蓮根班懇談会



高島平B班懇談会



成増班懇談会

本年度も各地域で開催を予定しておりますので、是非ご参加下さい!

なお、開催の日程につきましては、本誌にて周知いたしますので、ご確認下さい!

シルバーからのお知らせ

熱中症対策セミナー！

参加無料！
定員50名

近年、梅雨入り前からの極端な気温の上昇により、夏本番を迎える前に熱中症になって救急搬送されてしまう事例が多々発生しております。昨年度から、職場における熱中症対策の義務化が法令化されるなど、熱中症対策への意識が高まっていることから大塚製薬様をお招きし、熱中症対策をテーマとしたセミナーを開催することになりました。ぜひご参加ください。熱中症対策のお土産もあります！



日 時 令和8年5月27日(水) 10:00~12:00

協力企業 大塚製薬

場 所 グリーンホール6階(板橋区栄町36-1)

申 込 シルバー人材センター事務局

内 容 熱中症を未然に防ぐ方法や初期症状が出た際の対応方法等

☎03-3964-0871

締 切 令和8年5月20日(水) 正午

令和8年度安全就業標語 決定！

安全管理委員会にて令和8年度安全就業標語の選考が行われました。総数27作品の中からテーマごとに3点を東京しごと財団へ推薦しました。

板橋区シルバー人材センターとしても「生きいき」やチラシ等に、掲載していきます。

テーマ1「転倒予防と健康管理」

始めよう 筋トレ一番 介護なし
ちょっと待て 踏み出す一歩 意識して
バランスは 足元・食事の 共通項

(佐藤三郎 会員)

(小山文昭 会員)

(尾崎康秀 会員)

テーマ2「疲労回復について」

毎日を ストレス無しで 快適に
疲れたら ストレッチで 気分転換
体も心も疲れ気味 大事をとって 一休み

(佐藤三郎 会員)

(川口 等 会員)

(小山文昭 会員)



会費は5月末までに

令和8年度の会費2,000円は、**5月29日(金)まで**にセンター事務局へご持参ください。また、受付の際に会員番号、氏名を確認させていただきますので、**会員証**もご持参ください。

※振込での納入をご希望の方は、センター事務局までご連絡ください。

事務局連絡先

振込用紙を郵送いたします。尚、振込手数料はご負担いただきますので、ご了承ください。 ☎03-3964-0871

この度、一身上の都合で3月31日に事務局を退職することになりました。

在任中は、機材運搬職として広報や脚立等を運搬する業務に従事していたため、植木職の会員の皆様をはじめとした多くの会員の皆様と係わりを持つ事ができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

今後は、会員として在籍してまいりますので引き続き宜しくお願いいたします。

田中 三男

一ノ宮 和枝

事務局で10年弱、家事援助係担当で就労してきましたが、3月末で退職いたします。

会員の皆様、お世話になりました。お互いに、健康には気を付けて体を大事に生活していきましょう。



第16回定時総会における『会員表彰』について

永年就業会員の方の表彰を行います。
対象となるのは次の方です。

- ・通算で10年間継続して就業している方
(期間が空いていても通算10年の方は対象)
- ・令和8年4月1日現在で80歳以上、かつ通算で5年以上就業している方

自己申告制となっておりますので、
該当と思われる方は**5月20日(水)**までに事務局へご連絡ください。

第16回定時総会のお知らせ

令和8年6月23日(火)

午後2時より(1時開場)

区立文化会館大ホール



会員数

総数
(令和8年4月1日現在)
3,102人
入退会者数
(令和8年 1～3月分)
☆入会者数142人
★退会者数163人

就業報告書・勤務実績通知書提出日と配分金・給与支払日

	就業報告書・勤務実績通知書原本提出締切日	配分金(請負)支払日	給与(派遣)支払日
4月就業分	5月8日(金)	5月20日(水)	5月25日(月)
5月就業分	6月3日(水)	6月15日(月)	6月25日(木)
6月就業分	7月3日(金)	7月15日(水)	7月24日(金)



【表紙の写真紹介】

ウェッデルアザラシの親子
佐藤正治会員より投稿
(元南極地域観測隊による撮影)

就業情報サービス

(1) ホームページによる就業情報サービス

検索サイトで「板橋区シルバー人材センター」で検索後、ホームページを開き、ページ内右下部「就業情報」をクリックして確認してください。

※右のQRコードを読み取り頂いても閲覧できます。



就業情報

(2) 就業情報の掲示

シルバー事務局内の掲示板上に掲示しております。

(3) 就業情報の配架

ふれあい館5館(仲町・中台・高島平・徳丸・志村)で就業情報の冊子をご自由にお取りいただけます。

(4) 「公式LINE」による就業情報サービス

就業情報に変更するタイミングで、登録された方へ通知をいたします。右記に公式LINEのQRコードがございますので、読み取っていただき、登録をお願いいたします。



LINE登録



会報閲覧

内容は毎月 **5日、15日、25日** に更新しております。

過去の会報誌「生きいき」をご覧いただけます。▶

5月5日付の就業情報は大型連休のため、お休みさせていただきます。ご了承ください。

就業希望者登録説明 & 選考会

就業希望者登録名簿を作成するための『説明・選考会』を開催いたします。この名簿に登録されても、必ず就業できるとは限りませんが、新たな募集や欠員が出た場合には、地域性を考慮した上で優先的に連絡させていただきます。

会場

会場は全て板橋区立グリーンホール(板橋区栄町36-1)
※所要時間はいずれも2時間程度となります。

内容

①仕事の概要説明 ②個別面談

申込

完全予約制 必ず事前に予約をしてください。(複数申込可)
シルバー人材センター事務局 ☎03-3964-0871



①学童擁護 5/18(月)午後2:00～5階504会議室

【申込締切】5/14(木)午後4時

- 就業時間……午前7:30～午前8:30
午後1:00～午後4:00
又は 午後2:00～午後5:00
(※1日に2つの時間帯就業)
- 就業日数……月～金の通学日 月10日程度
- 配分金……1,312円/1時間
交通費：なし
- 就業内容……登下校時の誘導と安全指導
(元気で子ども好きな方、雨天でも就業、
夏・冬・春休み期間は就業なし)

②児童館 5/19(火)午後2:00～5階504会議室

※72歳までの女性のみ 【申込締切】5/15(金)午後4時

- 就業時間……午前8:45～午後5:30(実働8時間)
- 就業日数……祝日除く月～金 月6～8日程度
- 配分金……1,262円～/1時間
交通費：なし
- 就業内容……①施設内外の清掃(女性用トイレ・授乳室含む)ゴミ出し、洗濯
②来館者の受付、案内、遊具等の貸出・返却・整理

③あいキッズ 5/21(木)午後2:00～5階504会議室

【申込締切】5/19(火)午後4時

- 就業時間……午後1:00～午後6:00
※時間帯は応相談
- 就業日数……月～金 週2～3日の交代就業
- 配分金……1,230円～/1時間
交通費：支給
- 就業内容……①放課後学童クラブにおける
児童見守り
②職員補助



令和8年度 シルバー人材センター就業支援講習等のお知らせ

- シルバー人材センターの上部団体である、東京しごと財団が主催する講習会のお知らせです。
- 会員の方は、材料費・テキスト代を除き、原則無料で受講できます。
- ご興味のある方は、シルバー人材センター事務局までご連絡ください。
- 講習スケジュールや流れは、<https://www.tokyosilver.jp/course/koushu/> からご確認ください。右記QRコードからもご参照いただけます。
- ※応募者多数の際は、ご希望に沿えないこともありますので、ご了承ください。
- <申込> シルバー人材センター事務局 ☎03-3964-0871



個別就業相談会のお知らせ

入会をしたけれどまだ仕事をしていない方、仕事をしているけれど当初の条件と変わってきたので相談したい方などは、是非お越しください。情報提供を含め対応いたします。

- <日時> 令和8年5月11日(月) 午前9:30～午後2:00まで
- <場所> シルバー人材センター2階会議室
- <申込> 完全予約制 シルバー事務局 ☎03-3964-0871



次回「生きいき」225号は、7月に発行予定です。